

行雲流水

No.222 令和4年6月2日発行

「失敗やあやまち」のない者は、いない 「信用・信頼」されるには

校長 寒河江 正人

生徒諸君。

人間は、「失敗」をしたり、「あやまち」をおかす生き物だよ。

他ならぬ私も、そうだし、あなたも、みんなも、そのようにできているなあ。

そのことから目をそむけず、よく認識して、くじけずに生きてゆかねばならない。

昨日、何げなく、3年前のダイアリーを見直してみた。

その年の12月のページに、こんな「メモ」が記してあったので、紹介したい。

元「よしもとクリエイティブ・エージェンシー」専務、竹中功さん（59歳）の言葉。

「弁解やうそ、無理な正当化が、相手の怒りを増幅させる。

正義と良心で臨み、「イカリ（怒り）」が（逆から読んで）「リカイ（理解）」になると、

謝罪は、成功と言える。」

かつて、先輩教師から教えられた言葉。

「前もってしておくと「説明」になるが、後からするのは「言い訳」と言われてしまう。」

わが家の台所にはってある「あいだみつおカレンダー」の言葉。

「べんかいのうまい人間。あやまりっぶりのいい人間。」（さあ、あなたは、どっち？）

「信用・信頼」を失うのは、たやすい。たった「一瞬」のこと。

しかし、「信用・信頼」を回復するには、容易でない「時間と労力」を要するものだ。

これも私たち人間の真の姿なり。それを、肝に銘じ、心に刻み、日々精励すべし！！